

生涯学習やまがた



ネイチャーゲーム



さがえ図書館まつり



赤い羽根共同募金



企画会議



表彰を受けました!

CONTENTS

- ② 特集
山形県社会教育の歴史
—青年団の共同学習を通して— (矢口 悦子氏)
- ⑤ あなた やまがた たからびと②
土屋明美さん (白鷹町)
- ⑥ このまちに注目!
デジタルアトラクションイベント「あそび×まなびパーク powered by Little Planet」
寒河江市高校生ボランティアサークル「チェリーズ」
- ⑦ 事業報告
パワーアップセミナー/生活支援コーディネータースキルアップ研修/
山形県地域づくり実践交流集会
- ⑧ Information
山形県生涯学習センター助成制度のご案内、第11回洗心庵写真コンテスト作品展、
遊学館ブックス最新刊「山形の歴史的成り立ち」発刊について!

寒河江市高校生ボランティアサークル「チェリーズ」

現在、中学生と高校生23名が活動するボランティア団体「チェリーズ」は、昭和60年に設立され、「地域の人とのかかわりを大切に、笑顔で楽しくボランティアをしよう」という目的のもと活動しています。団体名は、寒河江市が「日本一さくらんぼの里」として知られることにちなんで名付けられました。主体性を持ち、地域の方々を巻き込みながら、地域がさらに生き生きとすることを目指して取り組んでいます。また、学校や学年の垣根を越えた仲間づくりを大切に、元気な挨拶と笑顔を忘れず活動しています。

→関連記事はP6へ

このまちに注目!

地域の取り組みを
紹介します

金山町

主催:金山町 共催:(株)リトプラ、(株)セガ エックスディー
協力:最上地域みんなで子育て応援団

デジタルアトラクションイベント「あそび×まなびパーク
powered by Little Planet」

子どもたちが心躍る体験を!

■事業内容■



町制施行
100周年記念
事業と町のDX
推進事業のコラ
ボ企画として、
普段は体験で
きかないような、
心躍るわくわく
する体験を多く

の子どもたちへ提供したいという思いから生まれたデジタル映像を活用したイベントです。町のDX推進事業のアドバイザー(株)セガ エックスディーをコーディネーターに、「テクノロジー」×「遊び」の次世代型テーマパーク「リトルプラネット」を運営する(株)リトプラのご協力により実現しました。砂の形状に合わせて山や海が出現する「SAND PARTY」、人の動きに応じて映像が動く「DISCOVERY GARDEN」など、当日は800人超の来場者が夢中になって楽しみました。

■ここが大変■

たくさん子どもたちに楽しんでいただきたく、イベントPRを幅広く行ったのですが、どれくらいの来場者になるか正直読めませんでしたが、結果、最上管内はもちろん庄内、置賜地方からも来ていただくことができ、会場は大盛況でした!

■ここがうまくいった■

最上管内の行政・子育て関係機関で組織する「最上地域みんなで子育て応援団」を通じてイベント周知を行い、当日の運営スタッフも保育士等のプロの皆さんが子どもたちをリードしてくれたことが運営をよりスムーズにしてくれました。

参加者Voice

- ・金山町でゲームセンターよりすごい遊びができて嬉しいです! ずっと忘れない思い出になりました。(9歳、小学生)
- ・ジャンプすると葉っぱや花びらが動いてビックリしました。砂場で宝を掘って見つけられて嬉しかったです!(5歳、園児)

寒河江市

寒河江市教育委員会

寒河江市高校生ボランティア
サークル「チェリーズ」

「チェリーズボランティア 三方よし」 自分によし 相手によし 地域によし

■活動内容■



「東海大山形高校の女子生徒が、小児がん支援のために立ち上がったんだって。チェリーズもやってみない?」という会

員の声が契機となり、一昨年9月に寒河江市文化センターで行われた「山形県民芸術祭」の場をお借りして、「小児がん支援 山形レモネードプロジェクト」を初めて行いました。また、依頼を受け今年度は「寒河江市福祉と健康フェア」の場で開催しました。このように、自分たちの企画立案と、市や福祉関係団体からの依頼の2本立てで行っています。他にも、小さな子どもと関わる「ネイチャーゲーム」や、図書館まつりでの読み聞かせ、赤い羽根募金など、地域の方々と関わり合いながら、「自分たちがやりたいこと、そして自分たちができること」をモットーに活動しています。

■ここが大変■

学校も学年も違う仲間が、一堂に集まる難しさを感じます。また、中学生から高校生と年齢の幅が広く、考えの違いを認め合う大変さを痛感しています。これからも仲間とともに、ボランティアの喜びを分かち合いながら活動していきます。

■ここがうまくいった■

チーム一丸となって活動すること、そのためには、相手の身になって行動することを心掛けています。その結果、お互いにカバーし合い、助け合いながら活動できるようになりました。

活動者Voice

- ・地域を支えたい、盛り上げたいという思いから、懸命にボランティアに参加しています。人と人を結び付けてくれたボランティアを通して、仲間と活動できたことは私にとって宝物です。(専攻科2年)